

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	03	144210	感染症予防対策事業(とりまとめシート)	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	1	健康づくりの支援			
目的	感染症の発生やまん延を予防する					
対象	各予防接種の対象年齢の方及び狂犬病予防法に基づく登録犬					
意図	疾病のまん延や重症化を未然に防ぐ					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○予防接種法による定期予防接種 A類疾病 主に集団予防、重篤な疾病の予防に重点、本人に努力義務、接種勧奨あり B類疾病 主に個別予防に重点、本人に努力義務なし、接種勧奨なし 任意の「こどものためのインフルエンザ予防接種費用軽減事業補助金」(対象生後6か月から小学6年生)  ○狂犬病予防 登録管理 鑑札 予防注射済票交付 集合注射日程周知						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	○ 補助・助成	○ 委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	日本脳炎予防接種対象者数	人	計画	5,800	5,300	
			実績	3,875	3,807	
②	BCG接種対象者	人	計画	680	680	
			実績	659	593	
③	狂犬病予防注射対象頭数	頭	計画	5,500	5,200	
			実績	5,016	4,879	
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	日本脳炎予防接種接種率	%	目標	98.0	98.0	
			実績	100.9	81.2	
②	BCG接種接種率	%	目標	100.0	100.0	
			実績	100.6	102.5	
③	狂犬病予防注射接種率	%	目標	100.0	100.0	
			実績	89.2	90.0	
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>BCGは生後5か月からの個別接種であり赤ちゃん訪問時通知していることから接種率は高いと思われる。日本脳炎は、接種の勧奨が差し控えられていたお子さんに対する接種の確保が必要なことから、H28年度は、高校2年生と9歳～10歳への積極的勧奨を行い、さらに年度内に未受診者への再勧奨を実施したが目標値に届かなかった。</li> <li>死亡の届け出がなされていない犬が多くいるものと想定される。</li> <li>狂犬病予防注射に対する意識が低い飼い主が存在する。</li> </ul>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 妥当である</li> <li>見直し余地がある</li> <li>妥当でない</li> </ul>
	成果の向上余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 向上余地がある</li> <li>向上余地がない</li> </ul>
	事業費・人件費の削減余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業費の削減余地がある</li> <li>○ 人件費の削減余地がある</li> <li>どちらも削減余地がない</li> </ul>
有効性	効果の向上余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 効果の向上余地がある</li> <li>効果の向上余地がない</li> </ul>
	事業費・人件費の削減余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委託や補助により実施している事業であり、必要な経費は県の補助単価に準じた算定をしているので必要最小限であり削減の余地はない。</li> <li>○ 狂犬病の予防注射は、主に花巻市狂犬病予防協議会への委託により実施している事業であり、委託料の単価も妥当であるため削減余地はない。</li> <li>○ 集合注射の回数や日程を見直すことで人件費の削減余地がある。</li> </ul>
	受益と負担の適正化余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受益者は、特定の市民ではないこと、市民の誰もがその対象年齢には受益の機会が均等である。</li> <li>○ 費用負担の見直し余地がある</li> <li>○ 適正である</li> </ul>
公平性	受益と負担の適正化余地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受益者は、特定の市民ではないこと、市民の誰もがその対象年齢には受益の機会が均等である。</li> <li>○ 狂犬病予防接種は受益者負担があることから適正である。</li> </ul>
	総合評価 …上記評価結果の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ H26年度から水痘、高齢者用肺炎球菌ワクチン、H28年度からはB型肝炎ワクチンが新たに定期接種に追加されたため、適正に接種するように、また、こどものためのインフルエンザ接種費用補助の周知を広報、ホームページ、チラシ配布などで周知に努めた。また、受診率向上のため、B型肝炎ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン、2種混合、麻しん、風しん2期、日本脳炎2期の未受診者への再勧奨を実施した。</li> <li>○ 狂犬病の人への感染を防ぐため、犬の登録情報の管理、鑑札・予防注射済票の交付を行い感染症予防に努める。</li> </ul>
	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的に見て、目標値に近づいた。</li> </ul>

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	03	144210	感染症予防対策事業(とりまとめシート)	
総合計画	分野					
	政策					
	施策					
目的						
対象						
意図						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				事業協力・協定		
				委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	インフルエンザ予防接種対象者数(こども)	人	計画	9,185	8,956	
			実績	9,185	8,956	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	インフルエンザ予防接種率(こども)	%	目標	77.0	77.0	
			実績	57.4	59.3	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
目的妥当性	公共関与の妥当性
	妥当である
	見直し余地がある
有効性	成果の向上余地
	向上余地がある
	向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地
	事業費の削減余地がある
	人件費の削減余地がある
公平性	受益と負担の適正化余地
	受益機会の見直し余地がある
	費用負担の見直し余地がある
適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	04	01	03	144210	感染症予防対策事業(とりまとめシート)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		261,510	262,829		1,319
財源 内訳	国・県	23,207			△ 23,207
	地方債				
	その他	2,443	3,279		836
	一般財源	235,860	259,550		23,690

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標

- ・健康に対する意識が高まっています。
- ・豊かな自然と生活環境を守り暮らしています。

事業開始の背景・経緯

- ・予防接種法により感染症の発生やまん延を予防するために各種予防接種事業を実施する。
- ・「狂犬病予防法」により、犬の所有者は犬に狂犬病予防注射を毎年一回受けさせる義務があり、接種率の向上と飼い主の利便性向上のため集合注射を実施している。

事業概要

- 予防接種法による定期予防接種
  - A類疾病 主に集団予防、重篤な疾病の予防に重点、本人に努力義務、接種勧奨あり
  - B類疾病 主に個別予防に重点、本人に努力義務なし、接種勧奨なし
- 任意の「こどものためのインフルエンザ予防接種費用軽減事業補助金」(対象生後6か月から小学6年生)

- 狂犬病予防
  - 登録管理
  - 鑑札
  - 予防注射済票交付
  - 集合注射日程周知

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・H26年10月から、水痘、高齢者用肺炎球菌ワクチン、H28年10月から、B型肝炎ワクチンが定期接種に新たに追加されたため、適正に接種するよう接種勧奨を行う。
- ・H26年度10月より実施している任意のこどもインフルエンザ予防接種の補助事業について市民への普及啓発を行う。
- ・H17年度から21年度にかけて日本脳炎の予防接種の勧奨が控えられた第2期の接種機会を逃した世代について接種勧奨を行う。
- ・HPやFM番組を通じた狂犬病に関する意識啓発と、各種届出の適正化の呼びかけが必要
- ・花巻市狂犬病予防協議会と中部保健所との連携による取り組みを行う。
- ・登録情報の照会に対し各支所でも対応できるよう平成26年度から畜犬管理システムを整備。26年度から5年間のリース契約。27年度から実施している畜犬システムリースサポート料は今後も継続が必要。

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 藤田 昭子 内線 390

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

(1) 予防接種 260,074千円 (H27 259,077千円)

- 予防接種委託料 225,295千円 (H27 224,601千円)
- 事務費 10,530千円 (H27 9,097千円)

種類	接種人数 (人)	事業費 (千円)	自己 負担
<b>定期接種A類疾病</b>			
四種混合	2,469	31,083	
不活化ポリオ	37	353	
二種混合	740	3,552	
MR I	649	7,772	
MR II	684	7,237	
日本脳炎	3,092	22,425	
B C G	608	4,429	
子宮頸がん			
ヒブワクチン	2,423	20,627	
小児用肺炎球菌	2,435	29,154	
水痘	1,316	11,710	
B型肝炎	1,009	7,879	
<b>定期接種B類疾病</b>			
インフルエンザ <sup>*</sup> (高齢)	20,502	62,843	1,800
インフルエンザ <sup>*</sup> (生保)	240	1,163	
高齢者肺炎球菌	2,909	14,768	3,000
高齢者肺炎球菌(生保)	37	300	
合計		225,295	

- ・臨時賃金3,833千円
- ・需用費1,761千円
- ・通信運搬費等4,175千円
- ・医師会事務委託350千円
- ・管理システム改修411千円

- こどものためのインフルエンザ予防接種費用軽減事業 (H27 25,379千円)  
H27はH26繰越事業

○予防接種補助金  
24,249千円

対象者数 (A) 人	接種延人数 (B) 人	接種率 (B) / [(A) × 2]	
小学生1人目	3,690	3,779	51.2%
小学生2人目	1,146	1,207	52.7%
未就学児	4,120	5,634	68.4%
計	8,956	10,620	59.3%

(2) 狂犬病予防 2,755千円 (H27 2,433千円)

- 狂犬病の予防注射により狂犬病の人への感染を防ぐ。
- 鑑札等交付事務 1,137千円 (H27 1,140千円)
- 犬登録管理システム注射履歴データコンバート委託料 162千円
- 狂犬病予防注射事務 554千円 (H27 390千円)
- 犬登録管理システムリース 708千円 (H27 708千円)
- 犬登録管理システムリースサポート料 194千円 (H27 195千円)

登録・接種状況

	新規	死亡	登録数	接種数	接種率
H26	346	469	5,220	4,722	90.5%
H27	293	466	5,016	4,472	89.2%
H28	287	469	4,856	4,371	90.0%